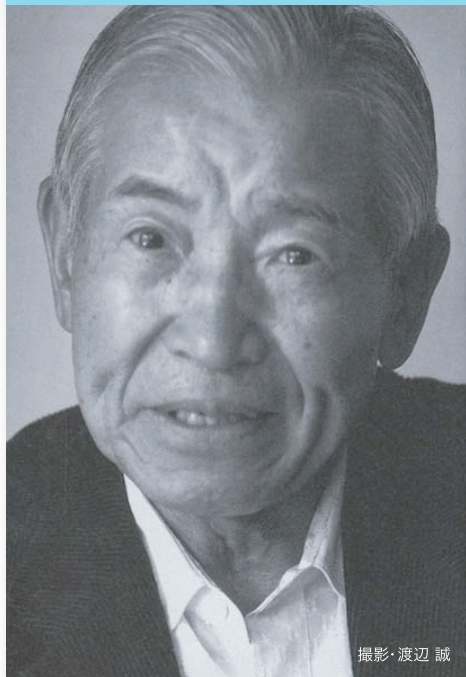


原発 — 諸外国から見た日本 と向きあう



撮影・渡辺 誠

1999年、脱原発の立場を表明したことで、駐スイス特命全権大使を辞することに。逆風の中、一貫して脱原発・経済至上主義脱却を訴え、国内のみならず世界に向けて発信し続けてきた不屈の人、村田光平。その努力も虚しく原発事故を迎えてしまったこの国は、海外からはどう見られているのか。そして、未来の選択に、責任ある市民として私たちはどのような関わり方ができるのか。「愛川欽也 パックインニュース」の企画者 横尾和博氏をお相手に、じっくりと語っていただきます。

村田光平 講演会

元外務官僚・駐スイス大使・参院予算委公述人

2013年3月23日(土) 14:30 開場 15:00 開演

会場 **さいたま市文化センター 4F多目的ホール**
JR 京浜東北線・武蔵野線南浦和駅歩7分(さいたま市南区根岸 1-7-1)

参加費 **予約 700円/当日 1,000円** ※定員150名。当日券には限りがありますので、ご了承ください

予約・問合せ 090-7702-4939 (野田)、080-3433-7146 (向井)
048-884-3369 (風土舎10時~19時)
E-mail : kokumintohyo.saitama@gmail.com



村田光平氏プロフィール (むらた みつへい)

<http://kurionet.web.fc2.com/murata.html>

- ◆在アルジェリア公使、在フランス公使、在セネガル大使などを歴任。
- ◆1996年~1999年、スイス大使として在任中、スイスの環境団体の反原発を評価したチラシを在スイス日本人に配布、大使を辞することになる。その後、2011年まで東海学園大学教授。
- ◆1999年初頭、世界の閣僚、大企業などに対し、世界の非核化、GDP経済からの脱却についての往復書簡などを交わす。
- ◆2012年3月22日には、参議院予算委員会公聴会に公述人として招かれ、「放射能汚染と、これを許すあらゆる行為は、計り知れない害悪を永久に人類と地球に残すものである」という趣旨の陳述と質疑応答を行なった。4号機問題を世界の安全保障問題として最大限の対応を訴えた。



さいたま市文化センター

主催：みんなで決めよう「原発」国民投票 埼玉
後援：カタログハウス、埼玉県市民ネットワーク、埼玉県保険医協会、
埼玉新聞社、生活クラブ生活協同組合、東京新聞さいたま支局
協賛：『週刊金曜日』

協力：1000万人署名・朝霞、和光、新座、志木4市連絡会、原発さよならデモ@埼玉、原発とめよう秩父人、菜園・野の扉、埼玉県の精神医療を考える会、さよなら原発1000万人アクション新座の会、市民じゃ~なる、『週刊金曜日』川越・ふじ野読者会、STOP 原発! 埼玉、脱原発さいたま市、脱原発スモールアクション、脱原発中野も、脱原発船橋(仮)、「地域の安心」ネットワーク、ニコニコクラブ、ピースライブ、東埼玉百人委員会、風土舎、NPO 法人みんなの夢の音楽隊、山猫くらぶ、リサイクルグループ・カリーナ、LO&PE365 (五十音順、募集中!!)

司会・インタビュアー

横尾和博

文芸評論家、放送作家
kinkin.tv 愛川欽也
パックインニュース
企画・構成・出演

